

一九三〇、四〇年代の日本民俗学と中国*目次

序章 主題と構成	3
----------	---

1 主題と資料	3
---------	---

2 本書の構成	14
---------	----

第1章 日本民俗学の成立期と中国	17
------------------	----

1 「二国民俗学」の確立	17
--------------	----

1 「二国民俗学」の論理	17
2 学問体制の確立と組織的な活動の展開	29

2 日本民俗学と中国——『旅と伝説』と『民間伝承』から	36
-----------------------------	----

1 『旅と伝説』の位置	36
2 『旅と伝説』における中国記事	41
3 『民間伝承』における中国記事	46

3 一九三九年——一つの変り目	48
-----------------	----

1 日本民俗学の一九三九年	48
2 占領と中国調査の展開	49
3 日本民俗学徒と中国	51
4 柳田国男の昔話比較発言	53

第2章 太田陸郎——文化史的関心 61

1 郷土史から日本民俗学へ 63

1 太田陸郎の略歴 63

2 太田陸郎の業績 64

3 郷土から日本へ 70

2 「中支」での観察 75

1 日本研究の延長 81

2 中国文化への沈潜と認識上の制約 84

3 日本への発信 88

3 太田陸郎の中国経験と日本民俗学 91

第3章 大間知篤三——民族学と民俗学 95

1 新人会から民俗学へ 96

1 大間知篤三の略歴 96

2 新人会と民俗学 98

3 民俗学創立期での活躍 100

2 「満洲」での調査 104

第4章

直江広治——民俗学への熱意

1	満鉄そして建国大学	104
2	民俗学から民族学へ	111
3	民族学とその政治性	119
4	新京民俗学同好会から満洲民族学会	130
3	大間知篤三の中国経験と日本民俗学	134

1	東洋史と民俗学	138
---	---------	-----

1	直江広治の略歴	138
2	民俗学、中国との出会い	140
3	民俗学の訓練	141

2	「北支」での活躍	143
---	----------	-----

1	満鉄調査部と日本民俗学	144
2	折口信夫の中国旅行	148
3	その後の民風会	151
4	山西学術調査	153
5	石田英一郎との再会	156

3	民俗学普及の努力	158
---	----------	-----

第5章

柳田国男先生古稀記念会——民俗学の再編成

1	輔仁大学と日本民俗学	158
2	民俗学教育普及の努力と効果	162
3	東方人類学博物館、エーデルと『民俗学誌』	167
4	直江広治の中国経験と日本民俗学	169
1	古稀記念会の計画	176
1	計画の全体像	176
2	計画の経緯	178
3	「内地以外に於ける民俗学大会」の背景	181
4	講演会から「国際共同研究」の場へ	190
2	北京大会の準備と挫折	195
3	日本民俗学の再編成	208
1	「比較民俗学」——実践への模索	208
2	国外世話人——組織上の変化	217

終章 まとめと展望 223

1 戦後——消えた国外 223

2 本論のまとめ 226

3 日本民俗学と中国 230

註

参考文献

あとがき

人名・事項索引

『歴史民俗資料学叢書』刊行のことは

(1) 291 277 241

一九三〇、四〇年代の日本民俗学と中国